

WELCOME TO  
HEARTS ハーツ村 VILLAGE

Vol.024  
毎月28日発行  
<http://heartsrizing.com/>

アメ車と遊びにまつわる狂想曲。

発行: HEARTS RIZING 監修: 財研 株式会社

## 人生の目的、命の尊さ

Tohoku-kanto Earthquake Relief

東北・関東の被災地へ「ココロ」を届ける

HRプロジェクト緊急発足

## HEARTS TO heart

ハーツからハートを。プロジェクト

PRAY FOR...



# マグニチュード9.0

## 今世紀最悪、東北・関東大震災について

3/11(金)。その一報が入ったのは、バタバタしていた午後だった。「関東方面が、地震でえらいことになってます!」。誰かは忘れたが、スタッフが叫んだ。その時は、まあ地震大国・日本では当たり前のものであり、何も驚くことなく、別にリアクションも取らなかった。いや、それどころじゃなく私は忙しかった。

……しかし、状況は違った。「M9.0 史上最大の大地震」。ニュースで目に飛び込んでくる映像に、啞然とした。正直、その数分間の記憶がない。無音、時間停止。そんな錯覚に落ちた。「た、た、大変なことになっている!!!」。明日(3/12)は、熊本県は今世紀最大の記念すべき九州新幹線全線開業ということで浮かれ気分だったワケだが、東北・関東の今世紀最大の震災が一瞬にしてもろとも吹っ飛ばした。正直、数十年前に起きた関西大震災では、少し人事の様に捉えていた自分がいた(関西の方、大変失礼)。しかし、今回は自分の中の気持ちが大きく違った。

### 「ハーツとして、すぐに何かできないか?」

それと同時に、茨城に住んでいるお客さんの顔が思い浮かんだ。心配で、ドキドキしながら慌てて電話をかけた。ご本人さまも無事、愛車(GMCジミー)も無事でひと安心だったが、残念ながら会社の方は浸水したそうだ。胸が痛む。次々に入ってくる衝撃的なニュース映像に目がいき、仕事という仕事が手に付かず、胸がざわつきっぱなし。仕事にならん。

**クソッ。歯がゆい。** 同じ日本人として、今すぐにでも何か手助けをしたい。

取り急ぎ、義援金の意味も込めて募金のために銀行へ向かった。だが、何だろう、このわだかまりは。募金はしたものの、なんか落ち着かない。むしろ、「これでいいのか?」と自問自答を繰り返す。と同時に、時間は経っていく。

それに対する、的確な回答は出ずじまいで、無常にも日は経っていく。1日1日過ぎるたびに、死亡人数が集積され、「この世のものじゃないような凄まじい映像」が、何の変哲もなく生活を送る熊本に届けられる。その度に、胸がまたズキズキし、自問自答を繰り返す。「これで、いいのか俺(怒)」。

その映像の中で、一つのストーリーが胸を打った。それは、あるじいちゃんの話だ。「大津波が来ているのが判っていながらも、大切にしていた孫との写真を1Fに取りに降りた瞬間、呑み込まれて亡くなった」というニュースだった。その行動が、自分のじいちゃんと合い重なった。「じいちゃん……」。おそらく、うちのじいちゃんも同じ状況だったら、全く同じような行動をとっていたらと思うと、目頭が熱くなる。大粒の涙がこぼれる。

やっぱり、ハーツとして動かなきゃ。元気を届けなきゃ。率先して、熊本の下南部から。支援物資を、アメ車トラックで運ぼうと思って調べたが、現段階では被災地に入るのには許可がいるとかで、まだ供給が難しいようだ。スタッフ同士でのアイデアレベルだが、「子供たちの心のケア」のために絵本を集めて、小さいコンテナで図書館を作ろう。そして、そのコンテナにみんなの応援メッセージを書いて(ハート)を運ぼう、とか。ハーツスタッフ・お客さんたちの同志みんなでアメ車トラックを連ねて、救援に行こうなど、具体的にはまだ構想中。ハーツだからできること、今しかできないことをやろうということで「HEARTS TO heart→HRプロジェクト」を発足します。そのために、ハーツ村の皆さんの力を貸してほしい。そして、これを読み終えた時、……1分でもいい。目を瞑って祈ろう。

PRAY FOR JAPAN. HEARTS TO heart  
2011.3.25 PM5:56-- (有) ハーツライジング代表・山本英俊



TEL 096・349・0073

info@heartsrizing.com

住所/熊本市下南部3-7-80 営業時間/10:00~21:00 定休日/なし

FAX 096・349・0074

http://heartsrizing.com/